

答

福祉基金を1000万円取り崩す予定です。また、県は小学校3年生まで2分の1補助します。
▽ 賛成全員で可決すべきものと決定。

●一般会計補正予算

収入・支出それぞれ712万8千円を減額するものです。主な内容は、庁舎等の改修事業（庁舎正面のエントランスのバリアフリー化）に779万7千円、ジャンプ競技場のリフト改修事業1400万1千円、塵芥処理委託料882万9千円の減、白馬山麓環境施設組合負担金1221万8千円の減です。
▽ 賛成全員で可決すべきものと決定。

●村税の滞納に対する特別措置に関する条例の制定

村税を滞納し、かつ納税に著しく誠実性を欠く者に対し、納税を促進し滞納を防止するために、特別措置を講じることににより、村税の納税意欲の



議会全員協議会での審議 3月18日

高揚と徴収に対する村民の信頼を確保するための条例です。
意見 滞納について、本村は県下ワースト1の徴収率となっていています。滞納は長年に亘る課題であり、放置できない問題であり、何とかしなくてはという気持ちは議員全員が共有しています。しかし、条例化しても、情報公開に関

して悪質な滞納者の氏名の公表が可能かどうかは大変難しい問題です。意図は十分理解できますが、現実的にはもう少し慎重に検討する必要があります。
意見 条例制定の前に、滞納問題に今まで以上に真剣に取り組み努力をすべきではないか。例えば、対策本部を立ち

上げ、徴税について専門に取り組むようなことを、先ず実行すべきです。

意見 小田原市の研修では、税務署OBを頼み徴税効果があつたという話しを聞いた。そういう方法もあります。

意見 現状では、条例化しているところはまだ非常に少ない。もう少し様子を見るべきではないか。

行政 納税促進が大前提ですが、金融機関が第一の抵当権を設定していますので、効果があるのか慎重に検討する必要があります。税務課では、徴税については差押えなど厳しい姿勢で対応し、やるべきことはやっています。調査や情報収集に関しては、国税徴収法で対応ができます。

意見 滞納問題に関して発議があつたということは、議会として大変重大な問題であるという認識を持ち、納税意識を高めるために更に努力していくことを、議会報で村民に知らせるべきです。
▽ 賛成者なしで否決すべきものと決定。

産業経済委員会

除雪に
7110万円

●一般会計補正予算

収入・支出それぞれ8293万8千円増額するものです。

主な内容は、農業用施設小規模修繕事業に500万円、道の駅白馬とスポアリーナ改修事業に196万5千円、信用保証協会保証料補給負担金に300万円、除雪事業に710万円、村道小規模修繕と深空橋改修事業に1900万円の増。災害復旧事業は66万4千円の減です。
問 観光施設整備費とは何か。
答 道の駅白馬とスポアリーナのトイレ改修事業等です。
▽ 賛成全員で可決すべきものと決定。